

I 学校経営 第1分科会「経営・ビジョン」の運営概要

研究課題 「創意と活力に満ちた学校経営ビジョンと校長の在り方」

リーダーシップの視点

- (1) 将来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定
- (2) 学校の役割を明確にした創造的な学校経営の推進

I 分科会研究協議の運営計画

校長は様々な教育課題の改善や改革が進行している状況においては、まず、自校の実態から課題を明確にすることが大切である。そして、不易の部分を踏まえつつ、流行の部分にも十分目を向け、重点化と効率化を図りながら実効性のある解決を図ることが重要である。さらには、教職員が自信と誇りをもち、学校教育を推進していくようにする必要がある。加えて、学校は、保護者や地域の人々と課題を共有し、地域の中で揺るぎない存在となることが何よりも重要である。今、校長には、時代の潮流を的確にとらえる先見性と教育活動全般にわたる力強いリーダーシップの発揮が求められている。

そこで、第1分科会では以下の2つを視点として研究課題を追求していく。「将来を見据えた明確な学校経営のビジョンの策定」「学校の役割を明確にした創造的な学校経営の推進」である。

リーダーシップの視点1…「将来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定」

明確な学校経営ビジョンとは、目標実現への具体的な手だてや道筋が明確に示されるとともに、教職員や地域への働き掛けが明瞭に意図されたものでなければならない。また、校長は、すべての教職員に教育の担い手としての揺るぎない自信と誇りをもちさせるために、子どもの未来をしっかりと見据えた学校経営ビジョンを前面に掲げ、その具現化のため方策を明確にした取組をすすめることが重要となる。同時に、校長自身が、未来を切り拓く資質・能力を身に付けた子どもを育てるために、学校の責任者としての展望をもち、学校経営に当たることが肝要である。このような視点から、将来を見据えた明確な学校経営ビジョンを策定していくために校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

リーダーシップの視点2…「学校の役割を明確にした創造的な学校経営の推進」

今の時代だからこそ、学校には、子どもたちの大きな夢や希望の実現に向けた教育が必要である。そのためには、教職員が未来を見据え、地球の中の日本という広い視野で物事を考え、自らの使命感と高い指導力に基づいて、社会や人類の発展に貢献できる日本人を育成することが求められている。そこに、学校としての揺るぎない存在価値がある。また、校長には、子どもに協調性や責任感等の他者と関わる力や、自立して社会で生きていくことができる力等、未来社会を生き抜くための力を育成する創造的な学校経営が求められる。このような視点から、確かな子どもの未来を実現するための学校の果たすべき役割を明確にした学校経営ビジョンを示し、子どもの夢の実現に向けた創造的な学校経営の推進のために校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

II 昨年度の課題(十勝大会第1分科会より)

- ロードマップなどを校長がどこまで示すかが課題である。ミドルリーダーに具体策を考えさせるなど、育てる視点も必要である。
- 関係機関との共有の在り方も含め、いつ・どのように実施し、どのように提示するかという経営ビジョンの検証が課題である。
- 学校の役割を明確にすることや関係機関との連携を図るには、情報の共有が必要であるが、情報をどこまで公開するかという点は大きな課題である。

Ⅲ 研究発表の概要

研究発表者 日高地区 平取町立貫気別小学校長 中山 英 明
発表題 「確かな学力を育成できる学校づくりに向けた校長としての指導性の発揮」
発表の要旨

○日高地区校長会では

将来を見据え、管内最重要課題となっている学力向上の具体である学校改善プランを位置付け「確かな学力を育成できる学校づくりに向けた校長としての指導性の発揮」を研究課題にして、創意と活力ある学校経営を目指した。

○平取町校長会では

日高地区校長会の研究課題を受け、2つの専門部「学力対策部」と「意識改革対策部」を立ち上げた。

※27年度実践し課題として以下のことが残された。

- 検証が不十分であることや校長の関与の弱さがある。
- 計画段階の評価が高く、実践、評価にしたがい評価が低くなる。マネジメント資源等、より一層の研修の視点を焦点化させる必要がある。
- 研修時間の確保が十分できない。
- まだ十分な成果ではなく、小中連携も含め、さらに取り組む。

Ⅳ 何を交流し合うか

第1分科会の趣旨、昨年度の十勝大会の反省、そして今回の日高地区の研究発表を絡ませ、リーダーシップの視点①では、「学校経営ビジョン策定にあたって、校長としてどんな苦労があるか」を、そして視点②では「学校・家庭・地域等の連携に、校長としてどんな苦労があるか」を交流しあい、工夫などの解決策を交流し合います。

Ⅴ 協議の流れ

(今後設定時刻
に変更がある
かもしれません)

| | |
|--------------------|--------|
| ● 開会の言葉 | 13:00～ |
| ● 担当者紹介・司会者挨拶・名刺交換 | |
| ● 趣旨説明 | 13:12～ |
| ● 研究発表 | 13:20～ |
| ● 質疑応答 | 13:40～ |
| ● グループ討議① | 13:45～ |
| ● 休憩 | 14:35～ |
| ● グループ討議② | 13:45～ |
| ● 全体討議 | 15:35～ |
| ● 研究のまとめと今後の課題 | 16:15～ |
| ● 閉会の言葉 | 16:25～ |



plm010 - 2327948

《1分科会に参加される皆様へお願い》

- ① グループ内で名刺交換を行いますので、10枚程度お持ちください。
- ② 各自資料お持ちください。
本年度初めに皆様の作成した「学校経営方針」をグループ内人数分として10部程度お持ちください。
グループ内では、その資料を見せ合いながら校長としての苦労等を交流し合うことになります。